

令和8年3月17日

**一般社団法人 エネルギー・資源学会**  
**令和8年度 事業計画書**  
(自 令和8年4月1日 至 令和9年3月31日)

1. はじめに

令和8年度においても、世界的なエネルギー情勢は気候変動対策とエネルギー安全保障の両立という困難な課題に直面している。国内では2050年カーボンニュートラル目標に向けた各種制度の実装が進む一方、企業の実践的な対応支援の必要性が高まっている。

本会は、従来の研究発表・交流機能を維持しつつ、社会的ニーズに応える新しいサービスの提供に向けた検討を進める。また、産官学の幅広い分野と世代をつなぐプラットフォームとして、他団体との連携を深化させ、企業会員の維持・拡大を図る。

これらの取り組みを通じて、会員からの要望・意見も取り上げながら、会員サービスの質的向上と持続可能な学会運営基盤の確立を目指す。

2. 企画関係事業計画

(1) 研究発表会

学会員の研究成果を発表する場として、第45回エネルギー・資源学会研究発表会(以下、研究発表会という)を8月4日・5日に2日間の日程で開催する。

(2) エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス

研究成果発表の場として関連団体との共催で第43回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス(以下、コンファレンスという)を1月下旬に2日間の日程で開催する。

(3) 特別講演会

研究発表会・コンファレンス開催に合わせて、特別講演会を都合2回、開催する。

(4) 研究プロジェクト

現在進めている研究プロジェクト「カーボンニュートラルなエネルギー需給に関する調査研究」の第2期(前半)として引き続き国内外の調査・研究を行う。

(5) 懇話会

エネルギー・資源・環境・経済等をキーワードとした喫緊のテーマについて、各界から第一人者である話題提供者を招聘し、参加者と自由闊達に意見交換する懇話会を年6回、開

催する。会終了後には、話題提供者を交えた技術交流会を行う。

#### (6) 研究部会

学会に参加する若手（35歳以下を想定）が集まりやすく、若手間の交流促進・学会定着を図るため、2025年度研究発表会で行った若手の会によるポスターセッション並びに若手間のグループディスカッションを今年度も継続していく。

#### (7) 研究委員会

##### ①家庭部門のCO<sub>2</sub>排出実態統計調査利用研究会（第6フェーズ）

環境省の実施している家庭部門のCO<sub>2</sub>排出実態統計の調査票を利用し、研究会メンバーそれぞれの研究領域から多様な視点で分析し、意見交換や議論をすすめ、その成果を学会会員、学会外に対し広く発信する。

##### ②カーボンニュートラル社会実現のための標準化戦略

製造技術に長けていても標準化戦略でしばしば勝てない日本において、カーボンニュートラル社会実現を目指す分野で標準化戦略を構築すると共に標準化人材を育てていくプロジェクトを進め、日本の競争力強化に貢献すると共に広く情報発信していく。

#### (8) 講習会・講座

最新の研究や技術開発の動向等について、専門家講師による講習会、講座を年数回、開催する。

#### (9) 研究会・見学会

エネルギー・資源・環境に係わる最新設備の見学や専門家の講演等を通じて、最新知見を得られる場として、研究会・見学会を年数回開催する。

#### (10) エネルギー施設の災害・安全対策研究会

学会員の災害対策・安全対策に資することを目的として、原子力発電所等のエネルギー関連施設の見学会等を行う。

#### (11) その他

##### ① 共催行事への対応

本会の目的に合致する場合、他の団体との共催行事を開催する。

##### ② 受託研究の受注

本会の目的に合致する場合、受託研究を行う。

##### ③ エネルギー検定（日本エネルギー学会との共同企画）

学会ウェブサイトからエネルギー検定を受験できるように設定する。

### 3. 編集関係事業計画

#### (1) 会誌「エネルギー・資源」の刊行

年6回奇数月の10日に会誌を刊行し、電子版をウェブサイトに掲載する。

正会員Aおよび特別会員には、製本された会誌を送付する。

## (2) 査読論文の掲載

投稿された研究論文・技術論文のうち、査読を経て採択されたものは、要旨を会誌に、全文をJ-STAGE上の「エネルギー・資源学会論文誌」に公開する。また、会誌への英文投稿も受け付ける。

## 4. 総務関係事業計画

研究発表会の開催に合わせて、第15回学会賞・学会貢献賞、第22回論文賞、第14回茅賞・学生発表賞の表彰式を開催する。

## 5. 主な会議予定

### (1) 社員総会

令和8年度（第47期）定時社員総会を令和8年6月8日に大阪で開催する。

### (2) 理事会

定例理事会を年3回、臨時理事会を年1回、開催する。あわせて学会賞・学会貢献賞選考委員会を年2回程度、開催する。

### (3) 企画実行委員会

行事の企画、実行計画の策定・承認等を目的として、企画実行委員会を年5回、開催する。あわせて茅賞・学生発表賞選考委員会を年2回程度、開催する。

### (4) 編集実行委員会

会誌の企画等の審議を目的として編集実行委員会を年6回、開催する。あわせて査読委員会を年6回、論文賞選考委員会を年3回程度、開催する。

### (5) 総務委員会

理事会に上程する議案の整理等を目的として総務委員会を年3回、開催する。

以上